

翌檜 ～習慣は力なり～

旭川永嶺高校
3年次進路通信第1号
令和8年4月9日
文責：仲俣 薫

～進路実現に向けて、最後まであきらめずにやり抜こう～

いよいよ3年生。自分のこと、目指す進路についてよく考え、納得できる選択ができるようにしたいものです。来年の4月、新たなステージに立つために、3年次の1年は、精一杯やりきる1年にしましょう。迷いや不安もあると思いますが、正しく努力することで道が拓けます。

1 全員面談で担任の先生とよく相談する

4月～6月にかけて、担任の先生と全員が面談を行います。みなさんが記入した個人面談ワークシートを基に、志望校の確認、選抜方法（一般選抜か、総合型選抜か、推薦選抜かなど）、受験方法、自分の今の成績と目標との差などを確認し、今後やるべきことを確認します。しっかり担任の先生に相談してください。もちろん、保護者との相談も綿密に行っておきましょう。

2 部活動や行事は全力でやりきろう！

3年生の前期は、「高校生活最後の・・・」がつくことが多くあります。勉強や進路に関する準備をやりながらも、3年間続けてきた部活動の集大成、また最上級生としての行事はしっかりやりきりましょう。そのことが、自分の強みや良さを再確認させてくれる場にもなるはずです。やりきった後で、自分は何かできたか、何が身についたか、そのことを振り返ることも大切です。

3 スキマ時間を利用し、勉強時間を確保しよう！

3年生の前期は、部活動や行事で忙しく、なかなか思うように勉強時間がとれないかもしれません。ただ、多くの卒業した先輩は、スキマ時間を利用して勉強時間を確保していました。朝早く来て自習室で勉強する、授業と授業の10分間の休み時間を利用して単語を覚える、バスの中、車の中、電車の中いる時間を利用して勉強する・・・などスキマ時間は色々あります。朝、すっきりした頭で問題を解くと効果的であったり、夜、暗記するとしっかり覚えられたりするなど時間帯によっても工夫できます。毎日、どこかの時間で、「勉強する習慣」を身に付けてください。習慣は力なりです！！

4 模試は、可能な限り全て受験しよう！

大学・短大受験者は、共通テスト模試・記述模試、看護学校受験者は道看模試、公務員受験者は公務員模試月に1回以上あります。上記の表で確認してください。

それぞれの模試を可能な限りすべて受験しましょう。模試は、そのときの力をはかるだけでなく、これから勉強すべき内容を確認することもできるものです。受けて終わりにせず、解き直しをしたり、不足していた分野の学習にとりくんだりして、効果的に活用することをおすすめします。

3年生の模試からは、浪人生も同じ模試に受験してくるため、初めはなかなか結果がでません。本格的に勉強してから成績が上がるまでに3か月かかるのです。あきらめず、粘り強く、勉強していきましょう。また、大学進学を考えている人は、5月の全統共通テスト模試はできる限り受けるようにしてください。様々な選抜方法で何が自分に適しているか、その選択の根拠になるからです。